



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (22) 7207 番

92.9.18 No. 3660

# 自衛隊のカンボジア出兵許すな!

## 全力で現地小牧基地へ

侵略戦争の歯車が勢いづいてしまっている。人民の持てるあらゆる力で出兵を阻止しよう。

ここぞ、人民の持てるあらゆる力で出兵を阻止しよう。ここで立たずに労働者はいつ立つのか!

かつての侵略百二十年をなんら反省・謝罪することなしに、再びアジア・カンボジア人民を殺りくする侵略を黙って見過ごすなど

### 申し入れ書

宮下防衛庁長官 殿

政府は、いまだ戦火の止まないカンボジアに自衛隊の派兵を強行しようとしているが、直ちにこの派兵に関する一切の行動を中止するよう強く要求する。

世論調査では過半数の人民・大衆が派兵に反対し、マスコミ調査でも高校生で六〇パーセント、中学生の七〇パーセントが海外派兵に反対していることが明らかとなった。そして、なによりもアジアの民衆は強く派兵に反対している。

また、憲法違反が明らかなPKO法ですら、そのためでは「停戦」「合意」「中立」等の条件が定められており、カンボジアでは、このいずれの基本原則も成立していないのが現状である。従って、施設料などの部隊の派兵はもとより、停戦監視団の派兵も違憲・違法であることは明らかであり直ちに中止しなければならない。

さらに、派兵される自衛官にとっては、入隊時よりも、つい数箇月前までは海外派兵はありえないとされてきたのであり、いわば雇用条件における契約違反であり、詐欺同然である事も明らかである。このようなことを自衛官に強要することは、絶対に許されな

い。しかも、PKO法は、議会の一切のルールすら踏みにじて決定されたものであり、自衛官はこれに反する一切の法的、道義的理由はない。

最後に、このカンボジア出兵をはじめとするPKO派兵に対して、これを拒否・辞退した隊員に対し、一切の処分、嫌がらせ、不利益な待遇を行わないことを全自衛隊員の前に約束し、出兵の辞退、拒否を権利として認める旨、隊内外に公表するよう申し入れる。

一九九二年九月一六日

国鉄千葉動力車労働組合

## “反弾圧闘争” “実力デモ貫徹”

九月一四日、東京六本木・檜町公園において、「第一七回九・一四反弾圧闘争」が行われ、全国各地から争議闘争を闘いぬく三〇〇余名の仲間たちが結集し、全争議団闘争の勝利とPKO派兵をはじめとした戦争政策に断固反対していくことが確認された。

集会は、夜空を引き裂く力強いシュプレヒコールで開始され、主催者代表挨拶の後、三里塚反対同盟から「一〇・一一三里塚へ総決起を」と熱いメッセージが紹介された。その後、北九州自立連帯労組、柳本合同労組の特別報告が行われ、基調報告では、「拡声器規制条例」制定に対する弾劾などが行われ、全力で反撃することを全参加者が決意した。

最後に四団体から決意表明が行われ、動労千葉からは、滝口執行委員が「PKO派兵阻止に全力で



立とう」と力みなぎる決意表明が行われた。

集会終了後ただちに日比谷公園にむけて、権力の弾圧をはねとばす実力デモを貫徹し、全争議団闘争の勝利にむけて職場、地域から反撃することを確認した。

動労千葉第一九回定定期大会

時 一〇月三日(土) 一二時から  
所 国民宿舎・のさか望洋荘  
四日(日) 一一時まで

全力で傍聴動員を!

(八日市場駅からバスで一五分)